

新 春 を 迎 え て

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃は、NOSA I の事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、4月の淡路島地震や9月の台風18号による集中豪雨、ウーカによる水稻の坪枯れなど、様々な災害が発生した年でした。あらためてNOSA I の基本的使命である「損害の補てんと未然防止」を確実に果たすことの必要と重要性を強く感じ、使命達成に向けて決意を新たにいたしました。

さて、2020年東京オリンピック・パラリンピックが決まり、将来への期待感が膨らんでいます。一方、政府は昨年末に農林水産業全体の強化策「農林水産業・地域の活力プラン」を決定しました。その中には、農地中間管理機構の新設による農地集積や40年以上にわたる生産調整の見直し、飼料用米への支援強化、多面的機能支払いの創設など、経営所得安定対策と米政策の大幅な転換が盛り込まれております。これらの政策が農業・農村の強化・活性化に繋がることを強く望むところであります。

また、本年度の農業共済関係予算には、新たに収入保険に係る検討調査費が計上されました。NOSA I にあっては大きな政策転換に対応するとともに、農業経営の安定に資する保険制度としてその機能を拡充・強化して行く必要があります。

さて、本会が農林水産省から必要措置命令を受けて2年9ヶ月が経過しました。NOSA I の事業運営は、皆様の信頼とご理解のうえに成り立っているものであり、そのためにもコンプライアンス意識を事業運営に定着させ、常に確認を怠らないことが重要だと考えます。措置命令は未だ継続中であり、現在、適正かつ効率的な事業運営に努めるべく、組織を挙げてコンプライアンス態勢の確立に取り組んでおります。

いよいよ、これから建物共済の契約更新期を迎えますが、NOSA I 事業の健全な発展と本年度の事業推進計画の達成に向けて、格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



兵庫県農業共済組合連合会
会長理事 鷲尾 弘志